

広報・教育部門

応募事例名

水再生センターをだいちちゃんとめぐるウォーキングマップ

応募団体名)横浜市

応募事例の概要



▲ A4版冊子、28頁。市内11か所の水再生センターをつないだ10ルートで構成。下水道を学びながら市内一周できて大満足の一冊！



▶ 下水道事業の関連情報もわかりやすく掲載。このページでは、本市水環境キャラクターかばのだいちちゃんが下水処理のしくみについて図や写真を使って説明。そのほかにも、再生水を利用したせせらぎ、デザインマンホール、災害用の下水直結式仮設トイレなどをコラムとして紹介している。QRコードを読み取れば詳細情報を得ることができる！

◀ マップには、ルート上の見どころが満載。公園、農業専用地区、いきものなど環境に関わるものだけでなく、本市が認定したおいしい逸品を取り扱うお店などグルメ情報も掲載。ルートは、職員が実際に現場をくり返し歩き、歩きやすさ、みどころの多さを調査し、決定した。



横浜市水環境キャラクターかばの「だいちちゃん」

◀ 下水道広報の場としてあまり縁のなかった区役所、地区センター、スポーツセンターなどで入手できる。不特定多数の方にウォーキングマップを手にする機会が生まれ、これまで興味なかった方にも下水道について知ってもらいきっかけとなっている。

PRポイント

どうしたら多くの市民の方が下水道に目を向けるかを考えました。これまで下水道広報物と言えば、イベントや現場見学会でのパンフレット等の配布に限られていましたが、ウォーキングマップは、毎日多くの方が足を運ぶ場所である、区役所などで配布できます。とても効率的な方法です。さらに、下水道広報物がウォーキングマップとしての役割を果たしているため、興味を持って手に取る方も多くなり、これまでターゲットになりえなかった新しい層への広報になります。また、ウォーキング自体が市民の健康増進と地域活性化へ寄与することとなります。多くの方に、楽しく、わかりやすく、下水道を伝えることができる一冊。これまでにない新しい切り口からの下水道広報といえます。